



Cisco NX-OS ソフトウェア機能のライセンス

この章では、Cisco NX-OS ソフトウェアを実行する Cisco Nexus スイッチの機能およびモジュールベースのライセンスに関連する情報について説明します。



Note Cisco Data Center Network Manager (DCNM) は、データセンター インフラストラクチャの管理に使用できる GUI です。Cisco DCNM のインストールおよびライセンスの詳細については、『[Cisco DCNM Installation and Licensing Guide](#)』を参照してください。

- [ライセンスのインストール, on page 1](#)
- [ライセンス キー ファイルの取得, on page 3](#)
- [ライセンス キー ファイルのインストール, on page 5](#)
- [ライセンスのバックアップ, on page 8](#)
- [ライセンス付き機能のイネーブル化 \(9 ページ\)](#)
- [使用中のライセンス機能の特定, on page 9](#)
- [ライセンスのアンインストール, on page 11](#)
- [ライセンスの更新, on page 13](#)
- [猶予期間機能の設定, on page 14](#)
- [ポートライセンス機能の構成 \(19 ページ\)](#)
- [ライセンスとモジュールの関連付け \(20 ページ\)](#)
- [デバイス間でのライセンスの転送, on page 21](#)
- [ライセンス設定の確認, on page 21](#)
- [ライセンスングのリリース履歴, on page 22](#)

ライセンスのインストール

プレインストールされたライセンス（新しいデバイスの注文にのみ適用される）を取得することも、ライセンスを手動でインストールする（ネットワーク内の既存のデバイスに適用することもできます）。



Note Cisco Nexus 3000 および 9000 シリーズスイッチのすべてのライセンスは、リリース 10.2(1) 以降、ポリシーを使用したスマートライセンスで管理されます。手動でのライセンスのインストールは不要です。



Note Cisco NX-OS デバイスにライセンスをインストールできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザ アカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*Security Configuration Guide*』を参照してください。

プレインストールされたライセンスの取得

新しい Cisco NX-OS デバイスでは、プレインストールされたライセンスを取得できます。

SUMMARY STEPS

1. 製品を購入されたリセラーまたは代理店に連絡して、このサービスを要求してください。
2. デバイスおよびライセンス付き機能を使い始めます。

DETAILED STEPS

ステップ 1 製品を購入されたリセラーまたは代理店に連絡して、このサービスを要求してください。

Note シスコのサポートをシスコのリセラーからご購入された場合は、リセラーに直接お問い合わせください。サポートをシスコから直接ご購入された場合は、http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html のシスコ テクニカル サポートにご連絡ください。

デバイスは、必要なライセンスがシステムにインストールされた状態で納品されます。

ステップ 2 デバイスおよびライセンス付き機能を使い始めます。

手動インストールの実行

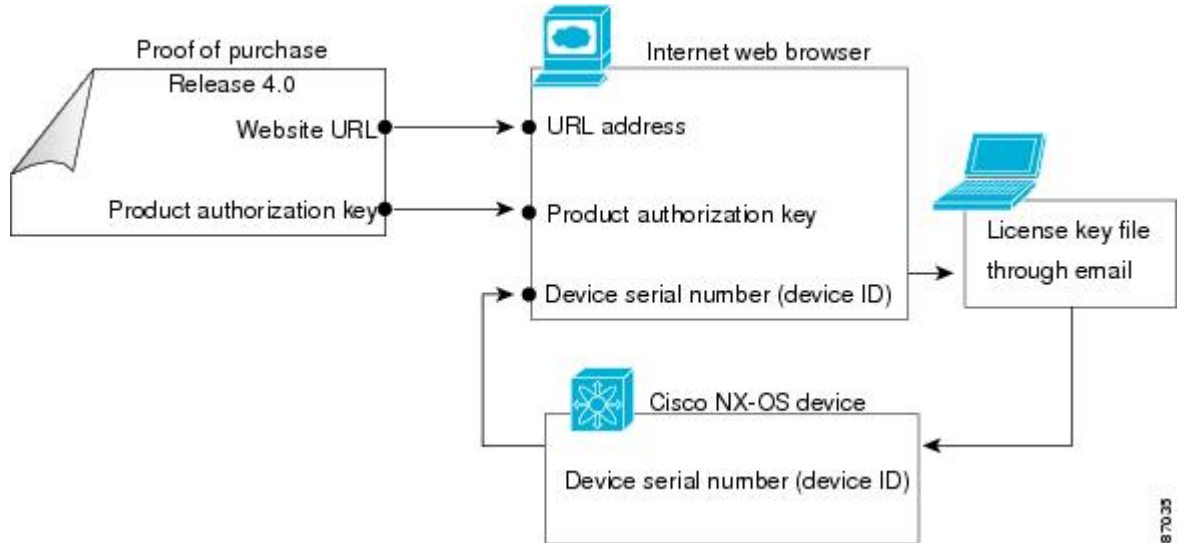
デバイスを手動でお持ちの場合、またはライセンスを自分でインストールしたい場合は、最初にライセンス キー ファイルを取得してから、それをデバイスにインストールする必要があります。



Note Cisco Nexus 5000 シリーズおよび Cisco Nexus 4000 シリーズでは、すべてのライセンスがプレインストールされています。手動インストールは不要です。

Figure 1: ライセンス キー ファイルの取得

次の図は、ライセンス キー ファイルを取得する方法を示しています。



187033

ライセンス キー ファイルの取得

新規または更新されたライセンス キー ファイルを取得できます。

SUMMARY STEPS

1. **show license host-id** コマンドを入力して、デバイスのシリアル番号を取得します。ホスト ID はデバイスのシリアル番号でもあります。
2. Software License Claim Certificate のドキュメントを取得します。ソフトウェア ライセンスの Claim Certificate が見つからない場合は、http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html でシスコ テクニカル サポートに連絡してください。
3. Software License Claim Certificate のドキュメントから Product Authorization Key (PAK) を見つけます。
4. Software License Claim Certificate のドキュメントから Web サイトの URL を見つけます。Product License Registration (製品ライセンスの登録) の Web サイト <https://tools.cisco.com/SWIFT/LicensingUI/Home> にアクセスできます。
5. Product License Registration (製品ライセンスの登録) の Web サイトの指示に従って、デバイスのライセンスを登録します。
6. Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチ、Cisco Nexus 3164Q スイッチ、および Cisco Nexus 31128PQ スイッチの場合は、**copy licenses** コマンドを使用して、ライセンス ファイルを `bootflash: directory`、`usb1: device`、`usb2: device` の 3 つの場所のいずれか 1 つに保存します。Cisco Nexus 7000 s シリーズの場合、デフォルト VDC から **copy licenses** コマンドを使用して、4 つの場所のうちいずれかにライセンス ファイルを保存します。 `bootflash` : ディレクトリ、`slot0` : デバイス、`usb1` : デバイス、または `usb2` : デバイス。その他のすべてのデバ

この場合、**copy licenses** コマンドを使用して、ライセンス ファイルを `bootflash: directory`、`volatile: directory` の 2 つの場所のいずれか 1 つに保存します。

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	show license host-id コマンドを入力して、デバイスのシリアル番号を取得します。ホスト ID はデバイスのシリアル番号でもあります。	<pre>switch# show license host-id License hostid: VDH=FOX064317SQ</pre> <p>Tip 等号 (=) の後ろに表示される ID 全体を使用します。この例では、ホスト ID は FOX064317SQ です。</p>
ステップ 2	Software License Claim Certificate のドキュメントを取得します。ソフトウェア ライセンスの Claim Certificate が見つからない場合は、 http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html でシスコ テクニカル サポートに連絡してください。	
ステップ 3	Software License Claim Certificate のドキュメントから Product Authorization Key (PAK) を見つけます。	
ステップ 4	Software License Claim Certificate のドキュメントから Web サイトの URL を見つけます。Product License Registration (製品ライセンスの登録) の Web サイト https://tools.cisco.com/SWIFT/LicensingUI/Home にアクセスできます。	
ステップ 5	Product License Registration (製品ライセンスの登録) の Web サイトの指示に従って、デバイスのライセンスを登録します。	<p>ライセンス キー ファイルが E メールで送信されます。このファイルは、要求したデバイスでのみ使用を許可するためにデジタル署名されています。指定したデバイス上で Cisco NX-OS ソフトウェアがライセンス キー ファイルにアクセスすると、要求した機能がイネーブルになります。</p> <p>Caution ライセンス キー ファイルには、いかなる変更も加えないでください。デジタル署名が変更され、ライセンスが無効になります。</p> <p>ライセンスは永久です。ライセンスをお持ちでない場合は、ライセンスで提供される機能を使い始めた時点から、機能を使用できる猶予期間がカウントされます。</p>

	Command or Action	Purpose
		Note Cisco Nexus 7000 シリーズ向け Cisco TrustSec および Cisco Nexus 5000 シリーズ向けレイヤ 3 Enterprise には、猶予期間はありません。Cisco TrustSec を使用するためには、Advanced Services ライセンスを取得する必要があります。
ステップ 6	Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチ、Cisco Nexus 3164Q スイッチ、および Cisco Nexus 31128PQ スイッチの場合は、 copy licenses コマンドを使用して、ライセンス ファイルを bootflash: directory、usb1: device、usb2: device の 3 つの場所のいずれか 1 つに保存します。Cisco Nexus 7000 s シリーズの場合、デフォルト VDC から copy licenses コマンドを使用して、4 つの場所のうちいずれかにライセンス ファイルを保存します。bootflash : ディレクトリ、slot0 : デバイス、usb1 : デバイス、またはusb2 : デバイス。その他のすべてのデバイスの場合、 copy licenses コマンドを使用して、ライセンス ファイルを bootflash: directory、volatile: directory の 2 つの場所のいずれか 1 つに保存します。	Note Cisco NX-OS デバイスにライセンスをコピーできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザアカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『 <i>Security Configuration Guide</i> 』を参照してください。

Related Topics

- [ライセンスのバックアップ \(8 ページ\)](#)
- [ライセンス キー ファイルのバックアップ \(8 ページ\)](#)
- [インストールされているライセンスのバックアップ \(9 ページ\)](#)
- [猶予期間機能の設定 \(14 ページ\)](#)
- [猶予期間の警告 \(15 ページ\)](#)
- [ライセンス猶予期間のイネーブル化 \(17 ページ\)](#)
- [ライセンス猶予期間のディセーブル化 \(18 ページ\)](#)

ライセンス キー ファイルのインストール

ライセンスをインストールして、デバイスの機能をイネーブルにできます。Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、ライセンスはデフォルトの VDC または管理 VDC にインストールする必要があります。ライセンスは、物理デバイスのすべての VDC と VRF の機能に適用されます。



Tip デバイスに複数のライセンスをインストールする必要がある場合は、ライセンス キー ファイルごとに必ず一意のファイル名を指定してください。



Note Cisco NX-OS デバイスのスーパーバイザ モジュールが 1 つで、そのスーパーバイザ モジュールを置き換える場合は、ライセンス キー ファイルを再インストールする必要があります。

猶予期間ライセンスで現在実行している場合、永続ライセンスをインストールする際のサービスの中断を避けるため、**no license grace-period** コマンドを使用して猶予期間を無効にしないようにしてください。単純に、新しいライセンスをインストールするのみとします。ライセンス マネージャにより、評価用ライセンスからインストールされたライセンスに自動的に遷移されます。

SUMMARY STEPS

1. アクティブなスーパーバイザのコンソール ポートからデバイスにログインします。
2. デバイスのコンソールから、アクティブなスーパーバイザモジュール上で **install license** コマンドを使用してインストールを実行します。
3. (Optional) ライセンス キー ファイルをバックアップします。
4. デバイスのコンソールを閉じ、新しいターミナルセッションを開いたら、**show license** コマンドを使用して、デバイスにインストールされたライセンスファイルをすべて表示します。
5. (Optional) 必要に応じて、グローバル設定モードで **feature feature-name** コマンドを使用して、ライセンス付き機能を有効にします。たとえば、BGP 機能は次のようにしてイネーブルにできます。

DETAILED STEPS

ステップ 1 アクティブなスーパーバイザのコンソール ポートからデバイスにログインします。

Note Cisco NX-OS デバイスにライセンスをインストールできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザ アカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*Security Configuration Guide*』を参照してください。

ステップ 2 デバイスのコンソールから、アクティブなスーパーバイザモジュール上で **install license** コマンドを使用してインストールを実行します。

```
switch# install license bootflash:license_file.lic
Installing license ..done
```

Note ライセンス キー ファイルにターゲット名を指定する場合、ファイルは指定された名前ですべてインストールされます。そうしない場合、ライセンス キーファイルに指定されたファイル名がライセンスのインストールに使用されます。

ステップ 3 (Optional) ライセンス キー ファイルをバックアップします。

ステップ 4 デバイスのコンソールを閉じ、新しいターミナルセッションを開いたら、**show license** コマンドを使用して、デバイスにインストールされたライセンス ファイルをすべて表示します。

```
switch# show license
Enterprise.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
INCREMENT LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG cisco 1.0 permanent uncounted \
  VENDOR_STRING=<LIC_SOURCE>MDS_SWIFT</LIC_SOURCE><SKU>N7K-LAN1K9=</SKU> \
  HOSTID=VDH=TBC10412106 \
  NOTICE="<LicFileID>20071025133322456</LicFileID><LicLineID>1</LicLineID>\
  <PAK></PAK>" SIGN=0CC6E2245FBE
```

Note **install license** コマンドの使用時に、ライセンスがすべてのガイドラインを満たしていれば、すべての機能とモジュールは設定どおりに機能し続けます。

show license brief コマンドを使用して、デバイスにインストールされているライセンス ファイルのリストを表示できます。

```
switch# show license brief
Enterprise.lic
```

show license file コマンドを使用して、デバイスにインストールされている特定のライセンスに関する情報を表示できます。

```
switch# show license file Enterprise.lic
Enterprise.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
INCREMENT LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG cisco 1.0 permanent uncounted \
  VENDOR_STRING=<LIC_SOURCE>MDS_SWIFT</LIC_SOURCE><SKU>N7K-LAN1K9=</SKU> \
  HOSTID=VDH=TBC10412106 \
  NOTICE="<LicFileID>20071025133322456</LicFileID><LicLineID>1</LicLineID>\
  <PAK></PAK>" SIGN=0CC6E2245FBE
```

ステップ 5 (Optional) 必要に応じて、グローバル設定モードで **feature feature-name** コマンドを使用して、ライセンス付き機能を有効にします。たとえば、BGP 機能は次のようにしてイネーブルにできます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature bgp
```

Related Topics

[機能ベースのライセンス](#)

[モジュールベースのライセンス](#)

[ライセンスのバックアップ \(8 ページ\)](#)

[ライセンス キー ファイルのバックアップ \(8 ページ\)](#)

[インストールされているライセンスのバックアップ \(9 ページ\)](#)

ライセンスのバックアップ

デバイスの設定またはブートフラッシュメモリが破損した場合は、ライセンスを再インストールする必要があります。再インストールはライセンス キー ファイルのバックアップ コピーから行うことができます。ライセンス キー ファイルがない場合は、インストールされているライセンスからライセンス キー ファイルのコピーを作成できます。



Note Cisco NX-OS デバイスのスーパーバイザ モジュールが 1 つで、そのスーパーバイザ モジュールを置き換える場合は、ライセンス キー ファイルを再インストールする必要があります。ライセンス キー ファイルの再インストールは、バックアップ コピーから行うことはできません。



Caution デバイスにインストールされている既存のライセンスを消去してしまった場合は、ライセンス キー ファイルを使用して **install license** コマンドを使って再インストールが可能です。



Note Cisco NX-OS デバイスのライセンスをバックアップできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。Cisco Nexus 7000 シリーズでは、ライセンスはデフォルトの VDC (VDC 1) からのみバックアップできます。ユーザ アカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*Security Configuration Guide*』を参照してください。

ライセンス キー ファイルのバックアップ

ライセンス キー ファイルは、**copy** コマンドを使用して、リモートサーバまたは外部デバイスにバックアップを作成できます。

次に、ライセンス キー ファイルをリモート サーバに保存する例を示します。

```
switch# copy bootflash:license_file.lic tftp://10.10.1.1//license_file.lic
```

一部の Cisco NX-OS プラットフォームでは、外部フラッシュ デバイスがサポートされています。次に、ライセンス キー ファイルを外部フラッシュ コマンドに保存する例を示します。

```
switch# copy bootflash:license_file.lic slot0:license_file.lic
```


インストールされているライセンスのバックアップ

ライセンス キーファイルは、**copy** コマンドを使用して、リモート サーバまたは外部デバイスにバックアップを作成できます。

次の例では、デバイスにインストールされているすべてのライセンスを .tar ファイルに保存してから、そのファイルを UNIX ベースのリモートサーバにコピーします。

```
switch# copy licenses bootflash:Enterprise.tar
Backing up license done
switch# copy bootflash:Enterprise.tar tftp://10.10.1.1//Enterprise.tar
```

UNIX ベースのリモートサーバ上で .tar ファイルを圧縮解除して、1つ以上のバックアップライセンスキーファイルを作成できます。作成されるバックアップファイルの数は、インストールしたライセンスの数で決まります。**tar extract** コマンドを使用して、Cisco NX-OS デバイス上のライセンス ファイルを抽出することもできます。

次に、.tar ファイルからライセンス ファイルを抽出する例を示します。

```
switch# tar extract bootflash:Enterprise.tar
```

ライセンス付き機能のイネーブル化

場合によって、ライセンス付き機能をイネーブルにして設定する必要があります。ライセンス付き機能を有効にするには、グローバル設定モードで **feature feature-name** コマンドを使用します。たとえば、BGP 機能は次のようにしてイネーブルにできます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature bgp
```

使用中のライセンス機能の特定

show license usage [package-name] コマンドを使用して、すべてのアクティブな機能を特定します。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins  Lic  Status Expiry Date Comments
                                   Count
-----
```

```
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG  Yes  -   In use Never      -
-----
```

```
switch# show license usage LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG
Application
-----
bgp
msdp
ospf
```



Note システムクロックがリセットされると、ライセンスは無効になります。show license usage コマンドは、ライセンス機能が有効になっていないことを示します。この動作を回避するには、デバイスを再起動します。

Cisco Nexus 3000、3500、3600、および9000シリーズスイッチの場合、[コメント (Comments)] フィールドには、ライセンスパッケージの優先モードが有効になってからの経過時間 (分および秒) が表示されます。このフィールドは、機能が有効になっているが、対応するライセンスがインストールされていない場合に入力されます。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins      Lic      Status  Expiry Date  Comments
                                     Count
-----
FC_PORT_ACTIVATION_PKG                No        0      Unused
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG           No        -      In use
                                     Honor Start 0M 33S
```

Cisco Nexus 7000 または 9000 シリーズスイッチの場合、show license usage コマンドの出力に「license missing」と表示される場合は、デバイスのライセンスファイルがデバイスの内部ディレクトリにインストールされていないか、誤った情報が含まれています。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. ライセンスのホストIDとファイルがシャーシのシリアル番号と一致することを確認します。



Note これらが一致せず、2 台のデバイスでログが表示される場合は、ライセンスファイルがシャーシ間で交換されている可能性があります。各シャーシ間でホスト ID とシリアル番号を比較し、適切なファイルを正しいシャーシに移動します。

2. ライセンスファイル (.lic) をブートフラッシュからのファイルで更新します。
3. これらの手順が機能しない場合は、clear license sprom コマンドを使用してライセンス SPROM をクリアし、ライセンスを再インストールします。

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合は、show license usage vdc-all license-name コマンドを使用して、特定のライセンスについて VDC でアクティブな機能を特定します。

```
switch# show license usage vdc-all LAN_ADVANCED_SERVICES_PKG
Application
-----
bgp
ospf
bgp@2
ospf@2
```



Note `show license usage vdc-all` コマンド出力で機能名の後に示される「@2」は、その機能が VDC 2 でイネーブルであることを示します。

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合は、デフォルトの VDC から `show license usage vdc-all` コマンドを使用して、すべての VDC でアクティブなすべての機能を特定します。

```
switch# show license usage vdc-all
```

ライセンスのアンインストール

未使用の永久ライセンスだけをアンインストールできます。使用中の永久ライセンスを削除しようとする、要求が拒否されてエラーメッセージが出されます。

Cisco NX-OS ソフトウェアの機能をイネーブルにすると、ライセンス猶予期間が有効になります。未使用のライセンスをアンインストールすると、猶予期間が有効になります。猶予期間は、ライセンスなしで機能が初めて使用された時点からカウントされ、有効なライセンスファイルがインストールされるとリセットされます。

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、ライセンスはデフォルトの VDC (VDC 1) からのみアンインストールできます。



Note Cisco NX-OS デバイスからライセンスをアンインストールできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザアカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*Security Configuration Guide*』を参照してください。



Note 永久ライセンスが使用されている場合は、アンインストールできません。永久ライセンスによって有効になっている機能をディセーブルにしてから、ライセンスをアンインストールする必要があります。



Tip 評価ライセンスを使用していて、新規の永久ライセンスをインストールする場合は、評価ライセンスが終了する前にサービスを中断させることなく行うことができます。評価ライセンスを削除すると、サービスを中断させることなく猶予期間がすぐに始まります。



Caution ライセンスをアンインストールする前に、ライセンスに関連する機能をディセーブルにする必要があります。ライセンスが使用されている場合、削除手順は失敗します。

ステップ 1 `copy` コマンドを使用して、実行コンフィギュレーションをリモート サーバに保存します。

```
switch# copy running-config tftp://server/path/filename
```

ステップ 2 `show license brief` コマンドを使用して、インストールされているすべてのライセンス キー ファイルのリストを表示し、アンインストールするファイルを特定します。この例では、アンインストールするファイルは `Enterprise.lic` ファイルです。

```
switch# show license brief
Enterprise.lic
```

ステップ 3 アンインストールするライセンスによって提供された機能をディセーブルにします。`show license usage vdc-all package_name` コマンドを使用して、指定されたパッケージで有効になっている機能を表示します。

```
switch# show license usage vdc-all LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG
Application
-----
bgp
ospf
bgp@2
ospf@2
-----
```

Note Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、`show license usage vdc-all` コマンド出力の機能名の後に「@」と数字が付いている場合は、その機能はデフォルト以外の VDC でイネーブルになっているため、その VDC からディセーブルにする必要があることを意味します。機能名の後の数字は、デフォルト以外の VDC の ID 番号です。`show vdc` コマンドと `switchto vdc` コマンドを使用してデフォルト以外の VDC にアクセスし、機能をディセーブルにします。

ステップ 4 `clear license filename` コマンドを使用して `Enterprise.lic` ファイルをアンインストールします。ここで `filename` はインストールされているライセンス キー ファイルの名前です。

```
switch# clear license Enterprise.lic
Clearing license Enterprise.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
```

ステップ 5 「yes」を表す「y」を入力して、ライセンスのアンインストールを続けます。

```
Do you want to continue? (y/n) y
Clearing license ..done
```

これで Enterprise.lic ライセンス キー ファイルがアンインストールされました。

ライセンスの更新

期間の制約があるライセンスは、更新ライセンスを取得してインストールする必要があります。テクニカル サポートに連絡のうえ、更新ライセンスを要求してください。

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、ライセンスはデフォルトの VDC (VDC 1) からのみ更新できます。



Note シスコのサポートをシスコのリセラーからご購入された場合は、リセラーに直接お問い合わせください。サポートをシスコから直接ご購入された場合は、http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html のシスコ テクニカル サポートにご連絡ください。



Note Cisco NX-OS デバイスのライセンスを更新できるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザー アカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『セキュリティ設定ガイド』を参照してください。

SUMMARY STEPS

1. 更新されたライセンス ファイルを取得します。
2. **copy** コマンドを使用して、実行設定をリモート サーバに保存します。
3. **show license brief** コマンドを使用して、更新するファイルの名前を確認します。
4. **update license {bootflash: | slot0: | usb0: | usb1:}new-license-filename old-license-filename** コマンドを使用して、ライセンス ファイルを更新します。
5. 「y」と入力して、ライセンスの更新を続けます（「yes」がデフォルトです）。
6. (Optional) 必要に応じて、グローバル設定モードで **feature feature-name** コマンドを使用して、ライセンス付き機能を有効にします。たとえば、BGP 機能は次のようにしてイネーブルにできます。

DETAILED STEPS

ステップ 1 更新されたライセンス ファイルを取得します。

ステップ 2 **copy** コマンドを使用して、実行設定をリモート サーバに保存します。

ステップ 3 **show license brief** コマンドを使用して、更新するファイルの名前を確認します。

```
switch# show license brief
```

```
Enterprise1.lic
```

ステップ 4 `update license {bootflash:|slot0:|usb0:|usb1:}new-license-filename old-license-filename` コマンドを使用して、ライセンス ファイルを更新します。

```
switch# update license bootflash:Enterprise2.lic Enterprise1.lic
```

Note `install` コマンドを使用して新しいライセンスをインストールし、`update` コマンドを使用してライセンスを更新してください。

ステップ 5 「y」と入力して、ライセンスの更新を続けます（「yes」がデフォルトです）。

```
Do you want to continue? (y/n) y
Updating license ..done
switch#
```

これで Enterprise1.lic ライセンス キー ファイルが更新されました。

ステップ 6 (Optional) 必要に応じて、グローバル設定モードで `feature feature-name` コマンドを使用して、ライセンス付き機能を有効にします。たとえば、BGP 機能は次のようにしてイネーブルにできます。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature bgp
switch#
```

Related Topics

[機能ベースのライセンス](#)

[モジュールベースのライセンス](#)

[ライセンス キー ファイルの取得](#) (3 ページ)

猶予期間機能の設定

猶予期間機能では、ライセンス キーのないライセンス付き機能を使用できます。ライセンスの猶予期間機能はデフォルトでディセーブルです。猶予期間機能がディセーブルであれば、ユーザが誤ってライセンス付き機能をイネーブルにすることはありません。



Note Cisco Nexus 9000 シリーズおよび Cisco Nexus 3000 シリーズでは、猶予期間機能はサポートされていません。

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、猶予期間は、デフォルトの VDC (VDC 1) からのみイネーブルおよびディセーブルにできます。

Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチでは、ライセンス コマンドがインストールされていない機能の猶予期間が自動的に開始されます (`no license grace-period` コマンドが有効なときでも)。



Note Cisco NX-OS リリース 8.2(4) および 8.4(1) 以降、猶予期間は Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチではサポートされていません。

Cisco Nexus 5000 シリーズでは、**license grace-period** コマンドはデフォルトで有効になっていません。



Note Cisco NX-OS デバイスで猶予期間をイネーブルにできるのは、ネットワーク管理者ロールを持つユーザに限られます。ユーザ アカウントおよびロールの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*Security Configuration Guide*』を参照してください。

猶予期間の警告

Cisco NX-OS ソフトウェアには 120 日の猶予期間があります。この猶予期間はライセンスをインストールしていない機能の評価中に、開始または継続します。Cisco Nexus 7000 シリーズでは、猶予期間は物理デバイスのすべての VDC に適用されます。つまり 1 つの VDC でライセンス付き機能をイネーブルにして猶予期間を開始すると、すべての VDC に対して猶予期間が開始されます。

評価中の機能をディセーブルにすると猶予期間は停止します。ただし、有効なライセンスなしで同じ機能をもう一度イネーブルにすると、猶予期間は停止した時点から続けてカウントダウンされます。



Note Cisco NX-OS リリース 8.2(4) および 8.4(1) 以降、猶予期間は Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチではサポートされていません。



Note サービスの中断を避けるために永久ライセンスをインストールする場合は、**no license grace-period** コマンドを使用して猶予期間を無効にしないでください。単純に、新しいライセンスをインストールするのみとします。ライセンス マネージャにより、評価用ライセンスからインストールされたライセンスに自動的に遷移されます。

ライセンス マネージャがインストールされたライセンスを使用すると、猶予期間の警告は停止します。

猶予期間はライセンス パッケージ内のすべての機能に働きます。ライセンス パッケージには複数の機能が含まれていることがあります。機能を猶予期間中にディセーブルにした場合に、まだイネーブルにされているその他の機能がライセンス パッケージにあると、そのライセンス パッケージのカウントダウンは停止しません。ライセンス パッケージの猶予期間カウントダウンを停止するには、そのライセンス パッケージのすべての機能をディセーブルにする必要があります。Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、物理デバイス上のすべての VDC でライセンス付き

機能をディセーブルにする必要があります。デフォルト VDC の **show license usage vdc-all license-name** コマンドを使用して、無効にする機能を特定します。

```
switch# show license usage vdc-all LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG
Application
-----
bgp
ospf
bgp@2
ospf@2
-----
```



Note Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、**show license usage vdc-all** コマンド出力の機能名の後に「@」と数字が付いている場合は、その機能はデフォルト以外の VDC でイネーブルになっているため、その VDC からディセーブルにする必要があることを意味します。機能名の後の数字は、デフォルト以外の VDC の ID 番号です。**show vdc** コマンドと **switchto vdc** コマンドを使用してデフォルト以外の VDC にアクセスし、機能をディセーブルにします。



Note 機能をディセーブルにするか、またはライセンスの猶予期間が失効すると、Cisco NX-OS ソフトウェアによって機能設定を含むチェックポイントが生成されます。このチェックポイントは、ライセンスをインストール後に再度イネーブルにする場合、または猶予期間のカウントダウンを再開する場合に機能を再設定するために使用できます。チェックポイントの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*System Management Configuration Guide*』を参照してください。

Cisco NX-OS のライセンスカウンタは、デバイス上のすべてのライセンスを追跡します。機能の評価中に猶予期間が開始されると、コンソールメッセージ、SNMP トラップ、システムメッセージ、および Call Home メッセージが毎日表示されます。猶予期間の最後の 7 日間は、これらのメッセージの頻度が毎時になります。

猶予期間の警告に加えて、猶予期間の最後の 15 日間は、ログイン時に Cisco NX-OS にバナーが表示されます。

```
NOTICE: NX-OS LICENSED FEATURES NEED ATTENTION
```

```
-----
Feature                               Ins Lic  Status Expiry Date Comments
                                   Count
-----
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG          No   -   In use                Grace 14D 6H
-----
```

```
**** WARNING: License(s) about to expire. When license(s) expire,
all licensed conditional features will be disabled ****
```

猶予期間の最後の 7 日間はこのバナーにプロンプトが含まれ、このプロンプトを消去しないとログインを完了できなくなります。

NOTICE: NX-OS LICENSED FEATURES NEED ATTENTION

```
-----
Feature                               Ins Lic Status Expiry Date Comments
                               Count
-----
```

```
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG      No  -   In use                Grace 3D 23H
-----
```

**** WARNING: License(s) about to expire. When license(s) expire,
all licensed conditional features will be disabled ****

CISCO TAC must be contacted asap for required licenses to prevent imminent
downtime/service disruption.

Please press Enter to confirm you understand this risk and wish to continue: [ENTER]

たとえば、ライセンス付き機能を1月30日にイネーブルにした場合は、猶予期間の終了メッセージを次のとおりに受信します。

- 1月30日から5月21日：毎日警告を受信します。5月15日から、ログイン時に Cisco NX-OS にバナーが表示されます。
- 5月22日から5月30日：1時間おきに警告を受信します。ログインバナーのプロンプトを消去するように求められます。これを消去しないとログインを完了できません。

5月31日：猶予期間が終了し、ライセンス付き機能は自動的にディセーブルになります。有効なライセンスを購入するまでライセンス付き機能を使用できません。



Note 猶予期間メッセージの頻度は変更できません。



Caution 猶予期間の最後の7日間の後、機能が停止し、ネットワークトラフィックが中断する場合があります。Cisco NX-OS の今後のアップグレードはライセンス要件および120日間の猶予期間を実施します。

デバイスの猶予期間情報を表示するには、**show license usage** コマンドを使用します。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins Lic Status Expiry Date Comments
                               Count
-----
LAN_ADVANCED_SERVICES_PKG           Yes  -   In use Never          -
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG         No  -   In use                Grace 119D 22H
-----
```

ライセンス猶予期間のイネーブル化

license grace-period コマンドを使用して、猶予期間機能を有効にします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# license grace-period
```

Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、猶予期間機能は、デフォルトの VDC からのみイネーブルにできます。

Related Topics

[機能ベースのライセンス](#)

[モジュールベースのライセンス](#)

ライセンス猶予期間のディセーブル化

猶予期間をディセーブルにするには、ライセンスの猶予期間を使用しているすべての機能をディセーブルにする必要があります。そうしないと、Cisco NX-OS ソフトウェアによって要求が拒否されてエラーメッセージが出されます。



Note サービスの中断を避けるには、永久ライセンスをインストールする前に猶予期間をディセーブルにしないでください。

SUMMARY STEPS

1. **show license usage** コマンドを使用して、猶予期間を使用しているライセンスを表示します。Cisco Nexus 7000 シリーズの場合は、デフォルトの VDC で作業する必要があります。
2. 猶予期間を使用しているライセンス付き機能をディセーブルにします。 **show license usage package_name** コマンドを使用して、指定されたパッケージで有効にされている機能を表示します。Cisco Nexus 7000 シリーズの場合は、デフォルトの VDC で **show license usagevdc-all package_name** を使用して、すべての VDC で有効にされている機能を表示します。
3. 猶予期間をディセーブルにします。

DETAILED STEPS

ステップ 1 **show license usage** コマンドを使用して、猶予期間を使用しているライセンスを表示します。Cisco Nexus 7000 シリーズの場合は、デフォルトの VDC で作業する必要があります。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins Lic  Status Expiry Date Comments
                                     Count
-----
LAN_ADVANCED_SERVICES_PKG            Yes   -   In use Never          -
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG          No    -   In use              Grace 119D 22H
-----
```

ステップ 2 猶予期間を使用しているライセンス付き機能をディセーブルにします。 **show license usage package_name** コマンドを使用して、指定されたパッケージで有効にされている機能を表示します。Cisco Nexus 7000 シ

リーズの場合は、デフォルトの VDC で **show license usage vdc-all** *package_name* を使用して、すべての VDC で有効にされている機能を表示します。

```
switch# show license usage vdc-all LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG
Application
-----
bgp
ospf
bgp@2
ospf@2
-----
```

Note Cisco Nexus 7000 シリーズの場合、**show license usage vdc-all** コマンド出力の機能名の後に「@」と数字が付いている場合は、その機能はデフォルト以外の VDC でイネーブルになっているため、その VDC からディセーブルにする必要があることを意味します。機能名の後の数字は、デフォルト以外の VDC の ID 番号です。**show vdc** コマンドと **switchto vdc** コマンドを使用してデフォルト以外の VDC にアクセスし、機能をディセーブルにします。

機能をディセーブルにするか、またはライセンスの猶予期間が失効すると、Cisco NX-OS ソフトウェアによって機能設定を含むチェックポイントが生成されます。このチェックポイントは、ライセンスをインストール後に再度イネーブルにする場合、または猶予期間を再度イネーブルにする場合に機能を再設定するために使用できます。チェックポイントの詳細については、ご使用のプラットフォームの『*System Management Configuration Guide*』を参照してください。

ステップ 3 猶予期間をディセーブルにします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no license grace-period
```

ポートライセンス機能の構成

ポートライセンスはハードウェアライセンスであり、Cisco NX-OS または ACI ソフトウェアの機能セットまたはソフトウェアライセンスとは無関係です。

従来のライセンスをスマート ソフトウェア ライセンスに移行すると、ポートライセンスは非適合状態になります。

コマンド	目的
port-license	非適格ポートのライセンス状態を適格に変更します。
port-license acquire	ポートのライセンスを取得し、ライセンスの状態を取得済みに変更します。

コマンド	目的
no port-license	ポートがライセンスを取得している場合、ポートのライセンスを解除し、ライセンス状態を適格に変更します。ポートがライセンスを取得していない場合、このコマンドはポートのライセンス状態を不適格に変更します。
no port-license acquire	ポートがライセンスを取得している場合、ポートのライセンスを解除し、ライセンス状態を適格に変更します。ポートがライセンスを取得していない場合、このコマンドはポートのライセンス状態を不適格に変更します。

ライセンスとモジュールの関連付け

モジュールでライセンス付き機能をイネーブルにするには、モジュールベースのライセンスをそのモジュールに関連付ける必要があります。

始める前に

- 正しいライセンスがインストールされていることを確認します。
- 正しい VDC を使用していることを確認します。
- 機能に必要な前提条件をすべて満たしていることを確認します。詳細については、適切な機能のマニュアルを参照してください。

手順の概要

1. `license fcoe module module-number`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	license fcoe module module-number 例： switch(config)# license fcoe module 2	モジュールベースのライセンスをモジュールに関連付けます。

デバイス間でのライセンスの転送

ライセンスは発行対象の物理デバイスに対して固有であり、他の物理デバイスには無効です。物理デバイス間でライセンスを転送する必要がある場合は、カスタマーサービスの担当者までお問い合わせください。



Note Cisco NX-OS デバイスのスーパーバイザ モジュールが 1 つで、そのスーパーバイザ モジュールを置き換える場合は、ライセンス キー ファイルを再インストールする必要があります。

スーパーバイザ モジュールの交換の際にライセンスを評価すると、猶予期間は通常 120 日間に設定されています。デュアルスーパーバイザ システムでは、ライセンスの猶予期間は、既存のアクティブなスーパーバイザ モジュールのものから、新しいスタンバイスーパーバイザ モジュールのものに上書きされます。



Note シスコのサポートをシスコのリセラーからご購入された場合は、リセラーに直接お問い合わせください。サポートをシスコから直接ご購入された場合は、次の URL にある Technical Assistance Center (TAC) にご連絡ください。 http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html

ライセンス設定の確認

ライセンスの設定情報を表示するには、次のうちいずれかの処理を行います。

コマンド	目的
<code>show license [brief]</code>	インストールされているすべてのライセンス ファイルの情報を表示します。
<code>show license feature package mapping</code>	インストールされているライセンス パッケージで使用できる機能に関する情報を表示します。 Note Cisco Nexus 9000 シリーズおよび Cisco Nexus 3164Q スイッチは、このコマンドをサポートしていません。

コマンド	目的
show license file	特定ライセンス ファイルの情報を表示します。
show license host-id	物理デバイスのホストIDを表示します。
show license usage [<i>license-package</i>]	インストール済みライセンスの使用状況を表示します。

ライセンスングのリリース履歴

次の表に、この機能のリリースの履歴を示します。

Table 1: ライセンスングのリリース履歴

ライセンス	リリース	注記
同期イーサネット (Sync-E) アドオンライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 10.1(2)	SyncE アドオン ライセンスのサポート
C1P1TN9500M4-3Y C1P1TN9500M4-5Y C1P1TN9500M816-3Y C1P1TN9500M816-5Y (ACI 以外)	Cisco Nexus NX-OS Release 9.3 (5)	Cisco Nexus 9500 シリーズスイッチのサポートが導入されました。
SyncE アドオン ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(5)	Cisco Nexus 93180YC-FX3S プラットフォーム スイッチ用の同期イーサネット (SyncE) アドオンライセンスが導入されました。

ライセンス	リリース	注記
ACI-SEC-XF ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(5)	<p>CloudSec ライセンスを使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトのサポートが追加されました。</p> <p>Note CloudSec ライセンス サポートを使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトは、ACI-SEC-XF ライセンスで使用できます。</p> <p>Note Cisco Nexus NX-OS リリース9.3(5) では、CloudSec を使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトは、Cisco Nexus 9300-FX2 プラットフォームスイッチでのみサポートされます。</p>
ACI-STRG、 C1-N9K-STRG-XF-3Y、 C1-N9K-STRG-XF-5Y ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 93180YC-FX プラットフォーム スイッチ用に導入されました。
N3K-STR2K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 3408-S および 3432D-S スイッチのサポートを追加しました。
N93-LAN1K9-XF2 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 9300-GX スイッチ用に導入されました。

ライセンス	リリース	注記
NX-OS Advantage ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 3132Q (3132Q-40GE を除く)、3172、3172PQ、3172TQ、31128PQ、3100-V、3232C、3264Q、および 3500 スイッチのサポートが追加されました。 Note Cisco Nexus 3132Q、3172、3172PQ、および 3172TQ プラットフォーム スイッチは、N9K モードで実行している場合にのみ NX-OS Advantage ライセンスをサポートします。スイッチモードを表示するには、 <code>show system switch-mode</code> コマンドを使用します。
NXOS-ES-XF2 および NXOS-AD-XF2 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 9300-GX スイッチ用に導入されました。
NXOS-SEC-XF ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3)	Cisco Nexus 93216TC-FX2 および 93360YC-FX2 プラットフォーム スイッチのサポートが追加されました。
C1P1TN9300GF-3Y C1P1TN9300GF-5Y C1P1TN9300XF-3Y C1P1TN9300XF-5Y C1P1TN9300XF2-3Y C1P1TN9300XF2-5Y	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(2)	Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチのサポートが導入されました。
show license usage コマンドの出力の名義モード <code>syslog</code> を受け入れる	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(1)	Cisco Nexus 3000、3500、3600、および 9000 シリーズ スイッチで導入されました。
NX-OS Advantage ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(1)	Cisco Nexus 3132C-Z、3264C-E、3636C-R、および 36180YC-R スイッチで導入されました。

ライセンス	リリース	注記
NX-OS Essentials ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(1)	Cisco Nexus 3132C-Z、3132Q (3132Q-40GEを除く)、3172、3172PQ、3172TQ、31128PQ、3100-V、3232C、3264C-E、3264Q、3464C、34180YC、3500、3636C-R、および 36180YC-R スイッチで導入されました。
NX-OS Essentials および Advantage ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(1)	Cisco Nexus 3000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 9364C スイッチ用に -XF2 ライセンスを購入することを推奨します。
NXOS-SEC-XF ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(1)	Cisco Nexus 9332C および 9364C プラットフォーム スイッチのサポートが追加されました。
DCN (ACI+NX-OS) Essentials および Advantage ライセンス パッケージとアドオン ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(3)	Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチ用に導入されました。
N3K-LAN2K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(3)	Cisco Nexus 3264C-E および 3464C スイッチのサポートを追加しました。
N3K-STR1K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(3)	Cisco Nexus 34180YC スイッチのサポートを追加しました。
N3K-STR2K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(3)	Cisco Nexus 3464C スイッチのサポートを追加しました。
N9K-LIC1-24P、N9K-EX-24P-UPG =、および N9K-FX-24P-UPG = ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(3)	Cisco Nexus 93108TC-EX、93108TC-FX、93180YC-EX、および 93180YC-FX スイッチの 24 ポート ライセンスが追加されました。
N3K-LAN2K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(2v)	Cisco Nexus 3432D-S スイッチのサポートを追加しました。
N3K-LAN2K9 ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(2t)	Cisco Nexus 3408-S スイッチのサポートを追加しました。

ライセンス	リリース	注記
NXOS-SEC-XF ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.2(1)	MACsec をサポートする Cisco Nexus 9000 シリーズ ToR スイッチにこのライセンスを追加しました。
名義モードのライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 9.4(1) Cisco Nexus NX-OS リリース 8.2(4)	Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのサポートが導入されました。
ENHANCED_LAYER2_PKG ライセンス	Cisco NX-OS リリース 8.2(1)	iCAM 機能は、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチの ENHANCED_LAYER2_PKG ライセンスで使用できます。
N95-FAB1K9 および N3K-FAB1K9 ライセンス	Cisco NX-OS リリース 7.0(3)F3(3)	InterAS オプション B および MPLS レイヤ 3 VPN 機能のサポートが追加されました。
N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco NX-OS リリース 7.0(3)F3(1)	Cisco Nexus 3600 プラットフォーム スイッチのサポートが追加されました。
ACI プレミアライセンス パッケージ	Cisco Nexus NX-OS リリース 7.0(3)I7(7)	Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチのサポートが導入されました。
NX-OS Essentials および Advantage ライセンス	Cisco Nexus NX-OS リリース 7.0(3)I7(7)	-XF2 ライセンスは、Cisco Nexus 3000 と 3600 シリーズ スイッチ および Cisco Nexus 9364C スイッチの -XF2 ライセンスよりも優先されます。
NXOS-ES-XF2、NXOS-AD-XF2、および NXOS-NDB ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(6)	Cisco Nexus 9364C スイッチ用に導入されました。
N93-LAN1K9-XF2 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(6)	Cisco Nexus 9364C スイッチ用に導入されました。
NX-OS Essentials および Advantage ライセンス パッケージと NX-OS アップグレードライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(6)	Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのサポートが導入されました。
NXOS-SEC-XM ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(2)	Cisco EoR スイッチの MACsec 機能のサポートが追加されました。

ライセンス	リリース	注記
FC NPV および FCoE NPV ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(2)	FC および FCoE NPV のサポートが追加されました。
N95-FAB1K9 および N93-FAB1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(1)	パーベイシブ ロード バランシング、テナント ルーテッド マルチキャスト、および VXLAN EVPN マルチサイト機能のサポートが追加されました。
N93-1G-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(1)	Cisco Nexus N9K-C9348GC-FXP スイッチにこのライセンスが導入されました。
N95-SERVICES1K9 および N93-SERVICES1K9	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(1)	iCAM機能のサポートが追加されました。
N3K-FAB1K9、N95-FAB1K9、および N93-FAB1K9 ライセンス	Cisco Nexus 3000 および 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I6(1)	セグメント ルーティング MPLS を使用したレイヤ 3 EVPN 機能のサポートが追加されました。
N95-SERVICES1K9 および N93-SERVICES1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I6(1)	Catena およびスマート チャネル機能のサポートが追加されました。
N93-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I4(2)	Cisco Nexus 9236C、9272Q、92160YC-X スイッチでのノンブロッキング マルチキャスト (NMB) 機能のサポートを追加しました。
N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS リリース 7.0(3)I7(1)	Cisco Nexus 3100-V スイッチのサポートが追加されました。
N95-FNPV1K9 ライセンスおよび N93-FNPV1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I3(1)	Cisco Nexus 9500 および 9300 シリーズ スイッチで FCoE NPV をサポートするためにこれらのライセンスを追加しました。
N93-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I3(1)	Cisco Nexus 9200 シリーズ スイッチのサポートを追加しました。

ライセンス	リリース	注記
N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 3232C および 3264Q NX-OS Release 7.0(3)IX1(2)	Cisco Nexus 3232C および 3264Q スイッチのサポートを追加しました。
N3172T-32T-LIC、 N3172T-16T-UPG	Cisco Nexus 3000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I2(1)	N3172T-32T-LIC は、Cisco Nexus 3172TQ スwitchのデフォルト 32 ポート ライセンスです。 N3172T-16T-UPG は、Cisco Nexus 3172TQ スwitchの 16 ポート アップグレードライセンスで す。これは 16 ポートを有効にする アップグレードライセンス で、N3K-C3172TQ-32T のみに適 用可能です。
N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 3000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I2(1)	N9K モードの Cisco Nexus 31128PQ スwitchおよび Cisco Nexus 3100 シリーズ スwitchの サポートを追加しました。
N95-LAN1K9 および N93-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I2(1)	PIM 双方向モードおよび Source-Specific Multicast (SSM; 送 信元特定マルチキャスト) モー ドのサポートを追加しました。
N6K-SERVICES1K9、 N56-SERVICES1K9、 N55-SERVICES1K9	Cisco Nexus 5500、5600、6000 シ リーズ NX-OS Release 7.2(0)N1(1)	Cisco Nexus 5500、5600、6000 シ リーズ スwitchで Intelligent Traffic Director (ITD) および Remote Integrated Services Engine (RISE) をサポートするために これらのライセンスを追加しま した。
N95-SERVICES1K9 ラ イセンスおよび N93-SERVICES1K9 ラ イセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I1(2)	Cisco Nexus 9500 および 9300 シ リーズ スwitchで Intelligent Traffic Director (ITD) をサポー トするためにこれらのライセン スを追加しました。
N95-LAN1K9 ライセン ス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I1(2)	Cisco Nexus 9500 シリーズ スwit チ用の VXLAN および BGP eVPN コントロールプレーンのサポー トを追加しました。

ライセンス	リリース	注記
FCoE F3 シリーズ	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 7.2(0)D1(1)	F3 シリーズモジュールでの FCoE のサポートを追加しました。
MPLS	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 7.2(0)D1(1)	Cisco Nexus 7700 スイッチでの MPLS のライセンスを追加しました。
N93-LAN1K9 ライセンスおよび N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 7.0(3)I1(1)	Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチおよび Cisco Nexus 3164Q スイッチ用の BGP eVPN コントロールプレーンのサポートを追加しました。
N95-LAN1K9 ライセンス、N93-LAN1K9 ライセンス、N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 6.1(2)I3(1)	ポリシーベース ルーティングのサポートを追加しました。
N3K-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 6.1(2)I2(2a)	Cisco Nexus 3164Q スイッチのサポートを追加しました。
N93-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 6.1(2)I2(1)	Cisco Nexus 9300 シリーズスイッチ用のライセンスを追加しました。
N95-LAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS Release 6.1(2)I1(1)	Cisco Nexus 9500 シリーズスイッチ用のライセンスを追加しました。
N77-LAN1K9 ライセンス N77-VDC1K9 ライセンス N77-EL21K9 ライセンス N77-SAN1K9 ライセンス	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 6.2(2)	Cisco Nexus 7718 スイッチおよび Cisco Nexus 7710 スイッチ用のライセンスを追加しました。
レイヤ 3 Base Services パッケージ	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS Release 5.0(3)A1(1)	Cisco Nexus 3548 レイヤ 3 ベースライセンスを追加しました。
レイヤ 3 Enterprise Services パッケージ	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS Release 5.0(3)A1(1)	Cisco Nexus 3548 レイヤ 3 エンタープライズライセンスを追加しました。

ライセンス	リリース	注記
NAT、ワーブモード、ワーブ SPAN	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS Release 5.0(3)A1(1)	新しい 3500 Algo Boost ライセンスを追加しました。
N7K-C7004-XL ライセンス	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 6.1(2)	Cisco Nexus 7004 Scalable Feature ライセンスを追加しました。
VDC および FCoE F2 シリーズ	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 6.1(1)	F2 シリーズ モジュールの VDC および FCoE のライセンスを追加しました。 Advanced Services パッケージから Cisco TrustSec を削除しました。
MPLS、LISP、FCoE	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 5.2(1)	MPLS、LISP、FCoE 機能のライセンスを追加しました。
猶予期間	Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS Release 4.2(1)	猶予期間が失効すると、設定済みのライセンス付き機能について自動チェックポイントが作成されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。